(8ページ以内)

く 公 表 >

平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 採択教育プログラム 事業結果報告書

教育プログラムの名称 0000000000000

機 閗 名 〇〇〇〇〇大学

主たる研究科・専攻等 : ○○○○○研究科○○専攻

取組実施担当者名 00 00

00000, 00000, 00000, 00000, 00000 キ

1. 研究科・専攻の概要・目的

研究科・専攻の概要(学生数や教員数、これまでの教育 研究活動の状況等) 及び人材養成目的について記入して ください。

2. 教育プログラムの概要と特色

採択時に提出した計画調書(留意事項等を踏まえて修正 を加えた場合は、修正変更版)の内容に基づき、教育プ ログラムの当初の計画(事業期間内に実施しようとした 取組及び事業終了後に期待された成果、養成される人材 像、独創的な点等) について、その特色がわかるよう具 体的に記入してください。

- ※資料、データ等は本文との関係が容易に確認できる 位置に記載してください。また、表の大きさは左右2 段にまたがってもかまいません。
- ※履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像 と特徴がわかるように図示された「履修プロセスの 概念図」を必ず挿入してください。(図の大きさは問 いません)

3. 教育プログラムの実施状況と成果 (1)教育プログラムの実施状況と成果

「2. 教育プログラムの概要と特色」に掲げた教育プロ グラムの当初計画がどのように達成されたかについて 具体的な取組状況(例:カリキュラムの実施状況、セミ ナー・インターンシップ・シンポジウム等の実施状況や 具体的事例、海外教育研究機関への大学院生の派遣状 況、大学院生の研究プロジェクトへの参加状況・具体的 事例など)を図表(データを含む)や写真等を交えて自 由に記入してください。また、その取組の実施による現 時点での成果(例えば、定量的なデータや大学が独自に 実施した自己点検・評価報告、学生アンケートの結果な どの内容) についても示してください。

<評価の着目点>

- ・教育プログラムの実施計画が着実に実施され、大学院 教育の実質化に貢献したか
- ・今後の我が国の大学院教育の実質化への波及効果が期 待できる成果が得られたか

写真1

- ※写真は本文との関係が容易に確認できる位置に記 載してください。
- ※人物が写っている場合、写っている本人の承諾を 予め得てください

写真1

図 1

大学

<<様式作成イメージ>>

(2) 社会への情報提供

当該教育プログラムの内容、成果等の情報提供の状況 について具体的に記入してください。

例)・ホームページへの掲載について

活動報告書、パンフレット等の作成・配布 について

<評価の着目点>

・教育プログラムの内容、経過、成果等を大学のホームページ等によって積極的に広く社会へ情報提供 を行っているか

4. 将来展望と課題

(1) 今後の課題と改善のための方策

「3. 教育プログラムの実施状況と成果」に掲げた2年間の事業の実施状況を踏まえた今後の課題及びそれに対する改善のための方策について、分かりやすく具体的に記入してください。

<評価の着目点>

・これまでの実施状況・成果を踏まえた今後の課題が 把握され、改善・充実のための方策が検討されてい るか

(2) 平成20年度以降の実施計画

「(1)今後の課題と改善のための方策」を踏まえ、当該教育プログラムの補助事業終了後の大学による自主的・恒常的な展開のための具体的な実施計画について記入してください。

<評価の着目点>

・当該教育プログラムの補助事業終了後の大学による 自主的・恒常的な展開のための具体的計画が示されて いるか